

1. 本授業科目の基本情報			
科目名（コード）	医療通訳基礎 I		(TCM123)
講義名（コード）	TCM_医療通訳基礎 I		(TCM123)
対象学科	国際コミュニケーション学科	配当学年	1学年
対象コース	日中医療通訳コース	単位数	4
授業担当者	伊東かつみ	時間数	60
成績評価教員	伊東かつみ	講義期間	春学期
実務者教員	はい	履修区分	必修
実務者教員特記欄	本講義は、関連分野で活躍した講師による授業である。		講義

2. 本授業科目の概要	
到達目標・目的	医療従事者として現場で即戦力となる確かな知識と技術を持ち、異文化に対する理解及び、通訳者として最低限の言語運用力とコミュニケーション力を身につけた人材になる。
全体的内容と概要	検査内容の理解と逐次通訳に重点を置き、基本的な診察に対応できるような訓練をする。チームに分かれて、他の学生の知識や経験を共有し競いあいながら、医療通訳の知識と現場での対応力を身につける。毎回点评の時の一言、短文の翻訳を行う。
授業時間外の学修	指定した患者と医師の会話文（日本語と中国語）の日本語文を読み、中国文を日本語に翻訳した文とともに録音する。 中国語文は日本語に翻訳してチャットで送る
履修上の注意事項等	授業中のゲームやクイズは真剣に取り組むこと。発言、質問、宿題提出など授業中に獲得した個人の点数は平常点として、考慮する、間違えから学ぶことを理解し、積極的に発言すること。

3. 本授業科目の評価方法・基準			
評価前提条件	2/3以上の出席		
評価基準	【 発言、積極性 + (期末試験点)】 期末テストの点数が90点未満の場合授業中に獲得した個人の合計の上位10位までの1点から10点を加算する。11位以下と90点以上の学生には加算されない	【自己管理能力 (①出席率、②宿題提出率、③1回の授業で一回以上挙手して発言した率) ÷ 3の30%】	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10% 【グループ獲得合計によって100点、80点、50点の3段階に分かれる。グループに所属している学生はその点数×0.1を獲得する】
評価方法	期末試験の点数+上位のランクの得点 (1点~10点) ×0.6	(①+②+③) ÷ 3 × 0.3 (小数点以下は四捨五入)	得点×0.1
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画				
---------------	--	--	--	--

4 5.10	敬語表現の習得、			敬語の変換練習 もらう→いただく、 くれる→くださる		命令形;くれる、 くれない、もらえ る、もらえない	①敬語から上下関係を理解。上司の話し方から命令のスタイルを理解 ②上司のニーズを理解、	上司のニーズ、敬語変換練習、練習問題のロープレ	会社の場面2018年12月問題2の6番と問題3の人材育成、●敬語が出てくる問題を集中練習	敬語での失敗体験	・敬語のppt、・敬語部分の即時応答、・会話文	聴解問題の中の敬語が出てくる場面を抽出し、聞き取り練習の後、ロープレでアウトプット
5 5.17	メモのとり方をマスターする			医療通訳のメモのとり方	漢字の読み方 母音の変換、聞いた音から漢字を連想する練習	店屋 日本 の特色、 日本語習慣	●メモのとり方 時間の推移を理解する ・時間副詞に敏感になれ!	自身のメモのとり方を発表し、情報交換する	「まず何をしますか」 2017年7月問題1の1、大学の事務、2 出版社、	相手に要求しているのにわかってもらえない経験	・メモのとり方ppt	順番が重要な話を上げて、聞き取り、その後ロープレで練習する
6 5.24	アンケートの提出	①アンケートをもう一度何もみないで完成させる。 ② N1、2の擬音語、擬態語のpptを見て練習する									アンケート	前回のアンケートと比較して、どの点ができているか、できていないかを把握
7 5.30				日常用語の使い方 ●擬態語		日本の習慣● ゴミ出し ●アパート、集団生活の規則 ●お掃除当番等●市町村	にほんの習慣を理解して、日本での生活をスムーズにすることがテストの目的である	ゴミ出し関係の会話のロープレ	●ゴミ出しと●パソ コン廃棄の会話	日本のゴミ出しについて	・日本の習慣ppt	即時対応
8 6.7	●こそあどの反応を加速させ、作文で使えるようにする		どこが痛い、痛 いところを表現する	●そこ、あそこの違いを理解● 擬態語、擬声語		●アンケート● 大学、レポート	仕事の順序の仕方を理解しながら、		●アンケート関係の聴解文を聞き取る	一番痛かった事	・コソアド解説ppt ・アンケート、大学の場面の問題	
9 6.14	スキミング;小さな事にとらわれず、感情と視覚化から要点を把握する。要点の小フレーズが瞬に呼応できるようにする			スキミング ●擬態語	感情を表す詞、 語気から推測する	長い話の要点を理解する	①キーワードを聞き逃さない ②知らない単語に集中しない ③わかることから主旨を想像する④場面を視覚化し、絵を想像する ⑤可能形の動詞から推測する ⑥～わけです。の前に注意。⑦～んです	1つの問題をラギングで練習	スキミングの問題を練習	記憶について	・聴解長文問題	スキミング
10 6.21	スキニング;相手のニーズやテストの要求に的を絞って、メモをとっていく 感情表現から相手のニーズを理解よく出る表現、単語、等を動画で練習			スキニング 終助詞の感情表現 ●擬態語	感情を感じながら、①けど、②が、③でも等の接続助詞に敏感になれ!	動画のシャドウイング	問題5、①後から聞きそうな問題を想定して、話を聞く ②どんな質問が来るか慣れておく ③質問されるであろういくつかの予想を話を聞きながら、建てられる訓練をする ④メモのとり方が重要 ⑤感情を表す、語気、表現	一人が問題を読みながら、一人が重要事項を声に出す	問題5の練習	日本語の、でも、中国語のでも	・聴解長文問題	
11 6.28	テストと同じ条件で練習			よく出る表現、 擬態語のクイズ 式特訓	できないところを話し合い、問題分析、改善法を即練習	なし	●模擬テストを					